

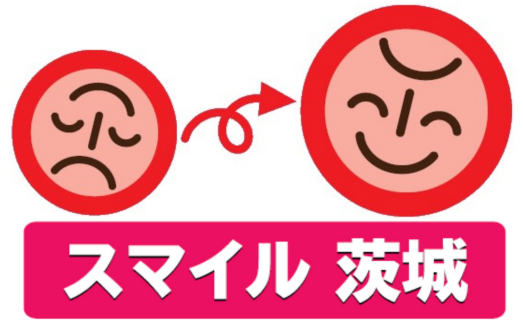
参議院議員

財政金融委員長 元財務副大臣

ふじ た

ゆき ひさ

藤田 幸久



参議院財政金融委員長に再登板

3月6日、参議院財政金融委員長に就任しました。2年前の8月、菅首相が特例公債法の成立と引き換えに辞任した最後の国会答弁となった委員会の委員長を務めて以来です。当時は与党の委員長として懸案をまとめました。今回は野党の委員長として、建設的な、良識の府としての審議を行いたいと思います。

財務副大臣は、財務省だけの担当でしたが、財政金融委員長は金融庁も担当するので、3月に期限の切れる金融円滑化法前後の中小企業支援をしっかりと支援していきたいと思います。

全力で励んで参りますので、皆様の更なるご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

春闘総決起集会と参議院選挙決意表明

3月2日連合茨城による春闘要求実現総決起集会が水戸で開催されました。和田会長は、「働く人々が経済そのもので、給与値上げがデフレ対策である。給与が前年を下回り、成果配分がなされていない。」と述べました。

そして、後半は、私に参議院選挙決意表明の機会を与えてくださいました。和田会長は、「まだ藤田さんは、組織に浸透しているとは言い難い。

藤田さんへの支援体制を構築し、茨城の民主1議席を死守しよう」と訴えて下さいました。

私は、組合の若いメンバーが何故民主党を応援するのか、と聞くのに対し、「働く人々

を大切に政治」として、子ども手当や高校授業料無償化、農業の戸別所得補償などを挙げました。また、「弱い立場にある人々への支援」として、シベリア抑留者への財政支援、C型肝炎被害者支援、アスベスト対策、神栖のヒ素問題など、何十年も放置されてきた政策を実現できたことを報告しました。そして、古い政治に先祖返りしてはなりません。石にかじりついてでも負けられない選挙を勝ち抜きますと訴えました。

最後に、南町広場から水戸駅まで横断幕を掲げて行進しました。



馬淵幹事長代理が党員などと対話集会

16日に馬淵澄夫幹事長代理が水戸を訪れ、藤田幸久後援会幹部、民主党党員・サポーター、地方議員、連合茨城幹部と相次いで精力的な対話集会を行いました。

馬淵さんからの、「できるだけ直接生の意見を聞かせて欲しい」との要望に応じ、多くの意見が寄せられました。昨年の総選挙で、大変な逆風の中で民主党候補を応援し、板ばさみとなったり、有権者の批判を直接受けた人が多く、党再生のための厳しい意見が相次ぎました。「責任を明らかにするために、野田前首相を、党から除名して欲しい」、「党内の内輪もめが一番まずかった」、「民主党の成果が知らされていない。もっと広報

すべきだった」といった意見などです。

12月の惨敗直後は、支援者も相当のショックを受けていましたが、この日は、「7月の参議院選挙で自公政権が過半数を取れば、何でもありの政治になってしまう。何としても参議院選挙に勝って欲しい」といった意見も寄せられました。

馬淵議員は、6時間近いヒアリングの全てをメモし、丁寧に答えると共に、24日に提案される党再生に向けた報告書に反映させたいと約束しました。



参議院本会議で代表質問

2月1日、参議院代表質問のトップバッターとして、藤田幸久が代表質問に立ちました。

【指定廃棄物の最終処分場建設問題について】

放射性セシウム濃度が一定以上の「指定廃棄物」について、昨年環境省は、茨城県及び栃木県の最終処分場について、一方的に1か所に絞った候補地を提示しました。このため、高萩市や矢板市の大きな反発を招いています。最終処分場の候補地の選定には、選考過程の透明性向上が不可欠です。いったん白紙に戻した上で、地元住民の意見を十分に聞き、関連自治体とも十分協議を行うべきではないでしょうか？環境大臣の見解を伺います。

⇒この代表質問を受けて2月25日、選定の経緯が検証され、方針が大きく見直されました。

【ガソリンスタンド危機について】

本日2月1日、地下貯蔵タンクの油漏れ対策の義務化の猶予期限が切れます。最近廃業するガソリンスタンドの悲劇が報道され、「ガソリン難民」、「灯油難民」などの言葉も聞かれます。東日本大震

災で多くの人命を救った地場のスタンドが、規制強化のために廃業することは災害時の燃料供給上大きな問題です。そこで、地元の強い要請を受けて、廃業せずに継続しようというスタンドに対しては、申請期限が過ぎていても受け付けるよう、配慮すべきではないでしょうか？

【不当廉売規制】

ガソリンスタンドや小売酒販店の中には、不当廉売、差別対価、優越的地位の濫用などの不当な取引が横行しており、地方の中小・零細の小売店は激減しています。公正取引委員会はガイドラインを定めていますが、このガイドラインは十分効果を発揮していないと言えます。不当廉売の判断基準を見直すと共に、公正取引委員会による現地調査の励行、関係大臣による勧告、改善命令の発出といった実効性のある方策がとられるべきではないでしょうか？総理の見解を伺います。

(その他の質疑はHPに掲載中です。 <http://www.y-fujita.com>)



東京医科大茨城医療センターが再指定に

阿見町の東京医科大茨城医療センターが診療報酬の不正請求により12月から保険医療機関の指定を取り消された問題で、関東信越厚生局は、本日3月1日に再指定を許可することを発表しました。1月22日に同センターが申請した内容に答える形で、病床数を501から389に、診療科目を24から19に減らすという条件です。この病床数ならば経営上も可能であり、診療科目の減少も名目的な内容で、余り影響も無く、妥当な結果と思われま

す。この件では、昨年11月22日、茨城県橋本昌知事の要請で、知事や磯崎県議会議長、田口稲敷市長、天田阿見町長、中島美浦村長、茨城県医師会諸岡副会長、稲敷医師会金井会長らを三井辨雄厚生労働相に再指定を求める陳情にお連れしました。指定取り消しは、多くの県民から地域の中核的医療機関がな

くなることへの不安が寄せられ、医療提供や医師確保に深刻な状況を及ぼしていました。

厚生労働省は、同センターによる診療報酬約8300万円もの不正請求に対して極めて強く反発していました。その後、私も県の土井保健福祉部長などとフォローしてきましたが、再指定が決定されたことをとてもうれしく思います。



昨年11月の三井大臣への要望の様子

お知り合いの方を
ご紹介下さい

ふじた幸久に茨城県のお知り合いの方をご紹介下さい。

お知り合いをご紹介頂ける方は事務所までご一報ください。

紹介用紙をご送付いたします！

ポスターを
貼らせてください

茨城県全域でポスター掲示をお願いできる方を募っています。壁や塀、駐車場、田畑、お知り合いの方など



設置例

でポスター掲示頂ける方を事務所までご一報ください。

藤田 幸久 プロフィール

初の国際NGO出身国会議員。
スマトラ・ハイチ地震援助など
世界48カ国で活動。

1950年 日生生まれ
二葉幼稚園～会瀬小～茨城大学付属中
水戸一高～慶應大学文学部卒業
難民を助ける会と国際MRA協会理事
聖学院大学非常勤講師など歴任

1996年・・・衆議院議員当選(東京)
2003年・・・民主党国際局長
2007年・・・参議院議員当選(茨城)
2008年・・・拉致問題特別委員長
2009年・・・民主党国際局長
2010年・・・財政金融委員長
2011年～2012年・・・財務副大臣
2013年・・・財政金融委員長